



平成 29年 2月 8日

北名古屋市議会議長
沢田 哲 様

会派名 市民民進クラブ
代表者 上野 雅美 
若しくは
議員名 

視察・研修報告書

政務活動費により視察・研修のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

参加議員名	上野 雅美 松田 功	
日程	2017年 1月31日 から 2月 1日 まで 2日間	
月 日	視察・研修先	視察・研修概要
1・31	特定非営利活動法人 豊島子ども WAKUWAKUネットワーク	子どもの貧困対策 無料学習支援等の実施活動状況について
2・ 1	和光市役所保健福祉部 地域包括ケア課	介護予防の取り組みについて

旅費合計	交通費	宿泊費	土産代	通信費	参加費
74720 円	47280 円	26000 円	1440 円	円	円

視察報告書

実施期日

2017年1月31日(火)～2月1日(水)まで (2日間)

参加議員名

市民民進クラブ 上野 雅美 松田 功

1日目 1月31日(火)

視察調査先

特定非営利活動法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
理事長 栗林 智絵子 氏

視察調査場所

区民ひろば池袋
住所：東京都豊島区池袋4-21-10

視察調査事項

子どもの貧困対策 無料学習支援等の実施活動状況について

内容

設立趣旨について

地域の子どもの地域で見守り育てる
6人に1人の貧困状況の中貧困の連鎖が生まれてしまう
学びや暮らしを有機的に支えるネットワーク

学びサポートについて

無料学習支援
貧困による教育格差をくいとめるために、無料学習支援を実施する
池袋WAKUWAKU勉強会 池袋区民ひろば(毎週火曜日)小中学生15時～20時
その他にも各地で毎週火・水・木曜日開催
学生・社会人ボランティア募集を行っている。

遊びサポートについて

池袋本町プレーパーク
遊びを通じ、のびのび過ごし自分らしさや仲間との協調、道具の片づけ、自己責任などを体験
プレリーダーを配置し見守り、遊び、話し相手、けが、トラブル対応していく

暮らしサポートについて

子ども食堂 夜の児童館
地域でだんらんを作る 一昨年子ども食堂サミット開催
地域の方から子どもの貧困に協力頂いている(スーパーや地域の方から食品を頂ける)

所感

近所づきあいが少なくなっている中、地域の子供を地域で見守り育てるために設立され、子ども食堂やプレーパーク、学習支援を進め子どもたちが楽しく過ごしているのが印象的であった。学習支援は、大学生のボランティア中心に行われており、子ども達は身近なお兄さんお姉さんのような様子で、甘えながらも頼りにし、やる気を出していた。またそれらに関わる地域の大人や大学生が、心ある関わり合いをすることで家庭事情など子どもの行動から家庭で悩んでいることが分かり、問題点を行政につなげる必要性を痛感した。子ども食堂やプレーパークなどの運営を、行政だけで行うと制約などで運営上難しい面が出やすいが、NPOは利用者側に近く寄り添い意見などを聞いたり言うことが出来ることもあり利点に思えた。また、地域の協力や差し入れなど様々な面から行政運営で難しい部分を、NPOの利点を生かして進めていることが参考となった。

2日目 2月1日(水)

視察研修先

和光市役所保健福祉部 地域包括ケア課
保健福祉部地域包括ケア課長 阿部 剛 氏

視察研修場所

和光市議会 全員協議会室
住所：和光市広沢1-5

視察研修事項

- ・ 介護予防の取り組みについて

内容

和光市における超高齢者社会に対応した地域包括ケアシステムの実践

地域包括ケアシステムについて ～社会保障の背景から国の施策を知る～

給付は高齢者世代が中心、負担は現役世代が中心という社会保障システムを見直し、現役世代も含めた、すべての人がより受益を実感できる「全世代対応型」の社会保障制度を構築していく。

和光市の地域包括ケアシステム ～日常生活圏域のニーズ調査から介護予防の取り組み～

マクロの計画策定 ～和光市の取り組みを中心に～

高齢者個別の課題及び地域の課題を把握（圏域ニーズ調査等）→介護保険事業計画等へ反映（実情を踏まえていく）→地域包括支援ネットワーク（「わがまち」の高齢者等の課題解決を図る支援基盤）I T C導入し構築していく。

ミクロのケアマネジメント支援

自立支援型ケアマネジメントとチームケア ～地域ケア会議を活用して～

①地域包括ケアを念頭に置き自立支援に対するケアプランなどの調整支援②効果的ケアマネジメントの質の向上③職員、ケアマネ、事業者などへのO J Tによる専門性の向上④他制度、職種によるチームケアの編成支援を行っていく。

和光市長寿あんしんプラン（平成27年度～平成29年度）

第6期介護保険事業計画における保険料設定の内容

第5期月額基準額4,150円 → 第6期4,228円（+78円）

和光市で行っている介護プログラムの紹介

パワーアップ（マシン利用） ヘルシーフット、元気アップ（椅子に座りながら行う）

複合プログラム（カジノ そば打ちなど） 閉じこもり予防事業（喫茶サロンなど）

所感

超高齢化社会を迎え、介護サービス、医療サービス、見守り等の様々な生活支援や、成年後見人等の権利擁護、住居の保障、低所得者への支援等、様々な支援が切れ目なく提供されることを進め、地域包括ケアを進めなければならない状況である。和光市は、アンケート調査を行いニーズの把握に努め、市独自の特別給付や、自立を目標とし効果的なケアマネジメントなどを進めるためのコミュニティケア会議などを効果的に進めている。高齢者一人一人の状況の把握が介護費用の軽減につながるコミュニティケア会議は、自立や在宅介護をする上において、大変重要なことと思う。今後の高齢者の人生や家族の家庭環境を考え、在宅介護や施設介護の在り方についての和光市の施策、各担当部局の熱心な対応を参考にしていきたいと思う。